

「第3次宇都宮市食育推進計画」素案に関するパブリックコメントについて

1 パブリックコメントの実施状況

- (1) 意見の募集期間 平成 29年 1月 16日 (月) ~ 2月 6日 (月)
- (2) 意見の応募者数 5名
意見数 5件
- (3) 提出方法の内訳

	郵送	ファクシミリ	Eメール	持参	電話	計
人数		3		2		5

2 意見の処理状況

区分	処理区分	数
A	意見の趣旨等を反映し、計画に盛り込むもの	1
B	意見の趣旨等は、計画素案に盛り込み済みと考えるもの	4
C	計画の参考とするもの	
D	計画に盛り込まないもの	
E	その他、要望・意見等	
	計	5

No.	意見の概要	処理区分	意見に対する市の考え方
1	<p>食育は、市民運動として盛り上げていくことが重要であり、構成事業で啓発イベントの実施主体が「市」となっているものが多いと感じる。</p> <p>啓発事業は、市民側に主体性を持たせて実施することが事業を継続するために不可欠であり、実施主体を「地域団体」や「関係団体」として追加できないか。</p>	A	<p>食育は、家庭を中心としながら、学校、地域、企業等の「地域団体」や「関係団体」と連携し、地域社会全体で進めていくことが重要であります。</p> <p>このため、ご意見のとおり、「食育啓発イベント実施事業【No5】(35ページ),【No22】(37ページ),【No54】(41ページ)の実施主体に「地域団体」及び「関係団体」を追記いたします。</p>
2	<p>国の第3次食育推進基本計画5点を子どもから大人まで一般市民に分かりやすい言葉に置き換えて呼びかけている印象を受けた。</p> <p>健康寿命を推進していく中で、高齢者や外出が困難である方や教室に参加することに気が引けるといふ方等にはどの事業があてはまるのか。</p>	B	<p>外出が困難な高齢者や教室に参加することに気が引ける方等に十分配慮した事業は重要であると考えております。</p> <p>このため、高齢者などが利用しやすいよう配慮しながら事業を実施してまいります。</p>

No.	意見の概要	処理区分	意見に対する市の考え方
3	<p>課題にあがった若い世代や働く世代の新規事業については評価できる。ただ、目標に近づけるためには、いかに多くの若い世代や働く世代にかかわれるかがカギとなることから子育て世代や働く世代が「食」のメリットを感じられる事業展開を期待する。</p>	B	<p>子育て世代や働く世代が「食」のメリットを感じられる事業展開が重要であると考えております。</p> <p>このため、事業実施にあたっては、子育て世代や働く世代が食に関心を持ち、健全な食生活の実践が図れるよう取り組んでまいります。</p>
4	<p>健康づくりに関するセミナーや講座、食育出前講座などを行っていてよいと思うが、ライフステージの変化の前後にアプローチを増やし働きかけるのはどうか。</p>	B	<p>ライフステージに合わせた事業を進める上でライフステージの変化の前後にアプローチを増やし働きかける手法は効果的であると考えております。</p> <p>このため、対象者のライフステージの変化の時期を捉えた事業を実施してまいります。</p>
5	<p>若い世代の人たちは、食生活や栄養に興味を持とうとしていない。若い人や働き世代に啓発を強化するのであれば行政だけでなく、地域や民間などと一緒に考えてほしい。</p> <p>インパクトがある事業を期待する。</p>	B	<p>若い世代や働く世代に対して食育の啓発を強化するためには、地域や民間などとの連携が重要であると考えております。</p> <p>このため、事業実施にあたっては学校や職場などと連携し、地域社会全体で健全な食生活の実践に向けた取組を進めてまいります。</p>